

協働事業評価・報告書

事業名	保育園等における食物アレルギー事故発生防止事業
団体名	NPO 法人ピアサポート F.A.cafe
県協働部署名	次世代育成課、私学振興課、がん・疾病対策課
事業期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

1 個別事業ごとの進捗状況

事業 1	園児啓発教材開発事業
(1) 目標	就学前の園児に食物アレルギーの学びの機会を提供する。患者本人には患者の自覚と理解を促し、友人らにはアレルギーへの関心と理解を促す。学んだ後に持ち帰り配布資料を通じて家庭への啓発も同時に展開する。
(2) 実績 ※事業の実施によって生じた結果を、数値等により箇条書きで記入してください。 ※この欄に入りきらない場合は、別紙も可。	【実施状況】 4 月～8 月 保育士・幼稚園教諭・教材アドバイザーと啓発教材の内容策定、デザイン制作 9 月～12 月 協働課とモニター園の選定調整、監修医による監修調整 動画制作 12 月下旬 啓発教材をモニター協力 30 園に配布 1 月～2 月 モニター園によるアンケート回答 3 月 当課へ報告 対象年齢の確定、啓発目標、対象園児の理解度、教材の難易度や種類、教員の使いやすさを考慮しながら、多様な施設や年齢層に適應できる教材作成を目指した。この過程で、保育士、幼稚園教諭、デザイナー、経験豊富な編集者、そして医療の専門家との打ち合わせを重ね、4 月から 9 月までの期間で教材のストーリー構成を完成させた。平行して監修の医師への協力も仰ぎ、協働課への報告も 9 月に行い、ほぼ計画通り進められた。 私学振興課の紹介で神奈川県私立幼稚園連合会とつながり 15 園のモニター園選定にご協力いただいた。次世代育成課には神奈川県内全体の意見を広く集めるため市町村をピックアップし 15 園を選定いただいた。12 月末に紙芝居を手作業で制作し各園へ送付した。 2 月末までに 32 件のフィードバックアンケートを回収した。
(3) 実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	32 件のアンケート結果より内容を理解できる年齢について、3 歳児から 48%、4 歳児から 29%、5 歳児から 14%であった。また、食物アレルギーが好き嫌いと思うことを理解できたかの問いに 86%が「はい」と回答。3 歳から食物アレルギーの理解を働きかけることができる内容であることがわかった。食物アレルギーのないクラスでの読み聞かせは 8 件あったが、身近な食べ物に関する紙芝居だったので抵抗なく受け入れることができたようだった。 一方、紙芝居の長さは、ちょうど良い 66%、長い 34%であった。自由記述にも後半飽きてしまう、文章が少し読みにくい、片手で持つには重い等改善点が挙げられた。 紙芝居の他に欲しい教材として、ペープサート 50%、緊急時対応やエピペンの使い方(先生用)41%、施設向けの研修会 31%、動画 31%、イラスト素材 25%であった。教職員向けの教育の機会が求められていることがわかった。
(4) 進捗状況	ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。(%) 100% イ) 上記ア) のように判断した理由を記入してください。

	5 年度については事業計画通り、モニター園選定、教材配布、アンケート回収を行うことができた。
	ウ) この事業の課題と対応策 紙芝居だけでなく副教材としてどこどこメガネ、アレルギーの絵合わせカード、保護者への啓発も促せるようポスターや配布資料も用意し、啓発を一度で終わることなく、副教材を通じて教職員と園児の会話のきっかけを増やし、習慣的にこれらの情報に触れることで、アレルギーや食材に対する自然な興味を喚起することを期待した。 アンケート結果から読み聞かせ後、69%がやや変化したとあったが、31%があまり変化がなかったと回答しており、より啓発が継続する仕組みづくりが課題である。

(注) 個別事業が 2 つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

今年度得たアンケート結果をもとに紙芝居の改訂を行い、より啓発が継続する仕組みづくりを検討する。来年度、再来年度に各 100 園に教材を配布する予定だが、その配布方法や配布媒体、また今後の展開方法も団体と共に検討していきたい。

3 負担金事業終了後の当該協働事業の見通し

本事業で制作した啓発教材は全国の必要な団体や自治体に提供できるように、団体により有償事業化する。現在、各自治体ではアレルギー対応研修開催時は成人対象の資料が多数提供されているが、園児達に展開できるものがない。また、研修は講義形式が主体で、園内で活用するには教職員の工夫が必要である。そこで当事業の啓発教材とフォローアップ研修や出前授業を組み合わせ、研修パッケージとして展開する。県としても団体の事業について、必要に応じて市町村・施設に周知するなど、協力をしていきたい。

4 協働事業の評価 (はい・いいえ・どちらともいえない、のいずれかに○をしてください)

(1) 協働事業の成果

①	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない
②	事業の受益者の満足を得ることができましたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない
③	②で「はい」を選んだ場合、受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを記入してください。 紙芝居活用後のフィードバックアンケートを実施した。	
④	協働事業の成果を記入してください。 モニター園に教材を配付し、アンケートを回収することで、6 年度に向けた修正の方向性などを探ることができた。 アンケートによる反応も、おおむね良好なものであった。	

(2) 協働事業の協議の状況

<企画段階>

①	事業計画や目標の立て方について、団体と県とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない
②	団体と県とは対等な立場で協議を行いましたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない
③	締結した協定書は事業を効果的に実施する上で適切でしたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない

<実施段階>

①	意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、団体と県とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない
②	団体の状況や担当者の置かれている立場についての理解に努めましたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない
③	必要な情報を県と共有することができましたか。	☒ はい ☐ いいえ・どちらともいえない
④	協議についての課題を記入してください。	

	5 年度はオンライン打ち合わせを中心に行ったが、6 年度以降、メールや電話も活用し、活発な連絡を取って対応すべき場面もあると思われる。
--	---

(3) 協働事業の役割分担

①	団体との役割分担は適切でしたか。	☒ はい ☐ いいえ ☐ どちらともいえない
②	協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	☒ はい ☐ いいえ ☐ どちらともいえない
③	役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。 特になし	

(4) 協働事業全体を通しての評価

①	全体として、団体と県とは対等な立場で協働ができましたか。	☒ はい ☐ いいえ ☐ どちらともいえない
②	この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	☒ はい ☐ いいえ ☐ どちらともいえない
③	協働事業全体を通じて気づいた点を記入してください。 団体主導で事業を進めつつ、県の役割も遂行し、円滑に事業を進めることができたと思う。県では難しいこと、団体では難しいことをそれぞれがカバーすることができる点で、協働という手法は有効と考える。	

(5) 社会的認知の獲得

①	取り組んでいる事業や成果について社会に知らせましたか。	☐ はい ☒ いいえ ☐ どちらともいえない
②	① で「はい」を選んだ場合、具体的に何を行いどんな反応があったか（無かったのか）を記入してください。	
③	今後に向けた課題を記入してください。 7 年度以降、モニター園以外の施設や市町村に、本事業の成果をどう広げていくか、検討が必要と考える。	

(6) 新たなネットワークの獲得

①	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	☐ はい ☒ いいえ ☐ どちらともいえない
②	① で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力しましたか。	② はい・いいえ・どちらともいえない
③	③ で「はい」を選んだ場合、どんな努力をしたのかを記入してください。	
④	② で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができたか。	☐ はい ☐ いいえ ☐ どちらともいえない
⑤	④ で「はい」を選んだ場合、具体的に関係（連携）ができた機関の名称を記入してください。	

(7) 行政の施策等への影響

①	協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識や行政の施策等に影響を与えることができましたか。（協働部署にあっては、影響を与えられたかどうかを回答してください。）	☒ はい ☐ いいえ ☐ どちらともいえない
②	① で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。 園児についての啓発事業は他に無く、その手法や効果について検討・認識するきっかけとなった。また、アレルギーに関する知識を園児に伝えることの難しさや大切さを考えるきっかけとなった。	

(8) 費用対効果

①	事業の効果から見て、要したコストは適切でしたか。	☒ はい ☐ いいえ ☐ どちらともいえない
②	① で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。	